

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 6月28日更新

事務事業名	夏休み学童保育事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 中嶋 万喜
計画	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	子育て支援課	担当者名 二瀬 義継
体系	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援		所属班	子ども保育班	(内線) 2312
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10569	法令根拠	合志市夏休み学童保育事業実施要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	
						成果優先度評価結果	: ②
						コスト削減優先度評価結果	: ①

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	夏休業期間において、各小学校学童クラブに加入していない小学校低学年児童の預かりを立割老人憩の家を活用して行う。平成18年度に行った子育て支援アンケートに実施要望が多く保護者からも電話での要望が寄せられた。小学校区等で実施している学童クラブは、受入れが満杯の状態であり、夏休み期間だけの受入れは、不可能である。近年、各学童クラブでの預り児童が増えてきている。平成22年度から、夏休業期間のみではなく、冬季休業期間及び春季休業期間も同様に実施している。平成25年4月より、要綱を改正して「長期休暇学童預かり事業」の名称となった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①夏休み(冬休み及び春休み)学童保育事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤支出負担行為 ⑥実績報告書・請求書受付、審査 ⑦支出命令書
【主な予算費目】	委託料 804千円(夏休分 500千円、冬休分 96千円、春休分 208千円)
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・保護者(利害関係者)から学童クラブの預かり定員を増やしてほしいとの要望がある。 ・夏休み期間だけでなく、冬休み及び春休みでも預けられる学童クラブを今後も続けてほしいとの要望があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
長期休暇の夏休み等の学童保育事業を委託により実施。冬休み及び春休みについても実施した。	夏休み等の長期休暇中の学童保育事業を委託により実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 夏休み等学童保育を開設した日数	日
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
学童クラブに行っていない小学校低学年の児童	→ ア 学童クラブに行っていない低学年の児童数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・仕事と子育ての両立支援を図る。 ・夏休み等における児童の安全、健全育成を図る。	→ ア 夏休み等学童保育を利用した児童数 人 イ 夏休み等学童保育を利用した延児童数 人
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
学童保育での夏休み等期間中の預かりであるため、夏休み等期間中の預かりを希望する児童に対して受け入れた割合として設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込	
① 活動指標	ア	日	38	25	30	45	30	30	30	30	
	イ										
② 対象指標	ア	人	1,487	1,977	2,000	20,270	2,000	2,000	2,000	2,000	
	イ										
③ 成果指標	ア	人	26	27	30	36	30	30	30	30	
	イ	人	314	587	400	579	500	500	500	500	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	344	351	321					
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	324	453	483	804	804	804	804	804
		(A) 事業費計	千円	668	804	804	804	804	804	804	804
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	206	100	161	284	161	161	161	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	2	3	2	3	3	3		
	延べ業務時間	時間	50	25	40	70	40	40	40		
	(B) 人件費計	千円	206	100	161	284	161	161	161		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	874	904	965	1,088	965	965	965		

事務事業名	夏休み学童保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 本年度の実施については、特に夏休みについては需要が多く、受付日には半数の申込みとなる状況であり、入所できた児童については、業務の達成はできた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはしているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 現在の定員の25名に対し、数名の定員を超える申込があったが、平成25年度も入所希望者のほぼ全員預かりができると考えており、目標達成の見込みである。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 平成22年度より、冬休み及び春休みにおいても事業を実施しているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各小学校区で実施の学童クラブや保育園の小学校低学年受入れが可能となれば、統廃合することができる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 児童の安全を確保するためには削減余地は無い。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事務で行っているため、今以上の削減余地は無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 以前に西合志庁舎の議員控え室や議場で実施していたものを、平成20年度から立割区老人憩の家で実施したが、立地場所が住宅地区から離れているため、利便性に欠ける。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域ボランティアの育成等を行うことにより、地域の公民館等での実施ができれば、移行が可能と考えられるが、事故発生における責任の所在に問題が残る。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

各学童クラブでは基準を超えた入所が多く、保護者の短時間就労により通常学童クラブに預ける必要がない児童で、夏休み等の長期休業期間中のみ預かることができない状況にある。この児童を受け入れることで児童の健全育成を図ることができ本事業は有効である。反面、実施場所が住宅地域と離れており利便性に欠けるとの意見もあり、実施場所の検討は必要である。また、3年前まで夏休み期間中だけであったため冬休みや春休みも平成22年度から実施している。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					